

授業科目名 Course Name	日本教育史学演習 Seminar in Educational History of Japan	教員名 Course Instructor(s)	河原 国男 Kunio Kawahara
		Eメールアドレス E-mail	kkawahara@miu.ac.jp
授業形態 Class Format	演習 Seminar	オフィスアワー Office Hours	演習後 After each session
科目番号 Course Code	LA1624	担当形態 Mode of Instruction (Solo / Omnibus / Jointly)	単独 Solo
単位数 No. of Credits	2	配当年次 Allocated Year	1～2年次
		卒業要件 Required or Elective to Graduate	選択 Elective
到達目標 Goals	本科目は、日本教育史に関する基礎演習を通じて以下の資質能力を育成することを目標とする。 1) 日本の教育がわが国のみならず、国際的に共有する諸問題に対してどのように直面しているか、その現状と課題の一部、もしくは全体について、歴史的アプローチから認識できる。 2) 当面する日本教育の諸課題に対して解決する方向について、理論的に、実証的に明確に示すことができる。 3) 関連する科目「日本教育史特論」の内容と関連づけることができる。 4) 文献研究、受講参加者との協議、実地調査等を通じて、上記1) 2) の目標について、レポートを作成することができる。		

授業の概要 Course Overview	本科目は、日本の教育が直面している国際的にも重要な下記の諸問題について、現状とこれからの課題を歴史的アプローチから認識し、その解決策を理論的・実証的に考察できるように、わが国の基本文献・資料と、外国文献・資料（翻訳、原書）の読解、受講参加者との協議、学校現場の参観、及び教育行政のヒヤリング等を通じて、日本の教育の展開に関する基礎演習を行う。 1) 「読解力」：OECDのPISAの「読解力」で指標とされている①情報へのアクセスと取り出し、② 理解・解釈、③熟考・評価=自分の意見を論述すること、という課題がどのように認識され、実現できているか、という問題 2) 「政治教育」：「18歳選挙権」（2016年施行）とともに、わが国においてもシチズンシップ教育の実施が求められている。主権教育を含め「政治的リテラシー」の育成が求められている。教育基本法にいう「政治的教養」を育む教育が、どのように認識され、実現できているか、という問題。 3) 「非認知的能力」の育成：幼児教育において、忍耐力、目標達成への情熱、他者と協働など非認知的能力、あるいは、OECDにより「社会情動的能力」(social-emotional skills)とも称される能力は、こうした能力は、どのように認識され、実現できているか、という問題。 4) 特別支援教育の成立：1978 年英国「ウオーノック報告」以来、わが国でも障害とその程度の区別の基づく「特殊教育」から、一人一人のニーズに応ずる特別支援教育が主に2000年以降成立した。その教育がわが国においてどのように認識され、発展的に実現できているか、という問題 5) 義務教育の再構築：公立小中学校において展開する「地域学校協働活動」あるいは、コミュニティ・スクールの構想と実践は、自由主義と両立する形で共同体主義（Communitarianism）の感覚をどう基盤的に育むことができるかどうか、そしてこの仕組みに参加する地域の人々の集合的な感覚は、より発展的には国際関係の中の協調する、民主主義的国民国家の教育課題を担いうる地域社会基盤になりうるか、という問題。1)～4)の問題認識を踏まえる。
ディプロマ・ポリシーとの関係 Diploma Policy Objectives	DP1-3 グローカルな交渉現場に必要な、客観的思考力や高度な推理・判断力を常に向上させる意欲・関心・態度を有する。 _ Acquire the motivation, interest and attitude to constantly improve objective thinking skills and advanced reasoning and decision-making skills required in global negotiation settings. DP2-2 現代のグローバル社会のさまざまな課題に対し学際的研究ができる能力を有する。 Acquire the ability to conduct interdisciplinary research on a range of issues that exist in the modern global society.

履修条件・ 注意事項 Prerequisites / Remarks	
授業計画 Course Schedule	1. 日本が現在直面する学校教育及び生涯学習の諸課題について概観する。 2. 「読解力」の内容について認識する。 3. 「読解力」育成の現状と課題について認識する。 4. 「読解力」育成の課題解決について認識する。 5. 「政治教育」の内容について認識する。 6. 「政治教育」の現状と課題について認識する。 7. 「政治教育」の課題解決について認識する。 8. 「非認知的能力」の内容について認識する。 9. 「非認知的能力」の育成の現状と課題について認識する。 10. 「非認知的能力」の育成の課題解決について認識する。 11. 特別支援教育の内容について認識する。 12. 特別支援教育の現状と課題について認識する。 13. 特別支援教育の課題解決について認識する。 14. 義務教育の再構築に関する現状と課題について認識する。 15. 義務教育の再構築に関する課題解決の方向について認識する。
学生に対する評価 Assessment Criteria	評価方法は、受講生と教員の間で議論することで、受講生の理解度を評価することによる。 なお、成績の評価基準は大学院学則に依る。 The evaluation method is based on the evaluation of the students' level of understanding through discussions between the students and the instructor. Grading criteria will be in accordance with the Graduate School Regulations.
時間外の学習について Preparation and Revision outside Class	
テキスト Textbooks	随時紹介 Suggested, as needed.

参 考 書 ・ 参 考資料等 References	〔読解力〕 国立教育政策研究所『生きるための知識と技能OECD生徒の学習到達度調査(PISA)~2018年調査国際結果報告書~』明石書店、2019年。 〔政治教育〕 バーナード・クリック『シティズンシップ教育論』法政大学出版局、2011年。 同上、長沼豊、大久保正弘編著『社会を変える教育~英国のシティズンシップ教育路クリップレポートから~』キーステージ21、2012年。 名嶋義直編『民主的シティズンシップの育て方』ひつじ書房、2019年。 〔非認知的能力の発達〕 OECD編『社会情動的スキル』明石書店、2018年。 国 立 教育政策研究 所 https://www.nier.go.jp/05_kenkyu_seika/pdf_seika/h28a/syocyu-2-1_a.pdf お茶の水女子大学『幼児期の非認知的な能力の発達をとらえる研究~感性・表現の視点から~』2016年。 小塩真司『非認知的能力~概念・測定と教育の可能性~』北大路書房、2021年。 〔特別支援教育〕 中村満紀夫編著『日本障害児教育史（戦後編）』明石書店、2019年。 国立特別支援教育総合研究所『特別支援教育の基礎・基本（新訂版）』ジアーズ教育新社、2015年。 柘植雅義『特別支援教育~多様なニーズへの挑戦~』中公新書、2013年。 〔コミュニティスクール〕 佐藤晴雄『コミュニティスクールの成果と展望~スクール・ガバナンスとソーシャル・キャピタル~』ミネルヴァ書房、2017年。 宮崎大学編『小中一貫・連携教育の理念と実践~「美郷科カリキュラム」の実践~』東洋館出版、2013年 高橋興『少子化に対応した学校教育充実の処方箋』ぎょうせい、2018年。宇佐美誠『その先の正義論』ランダムハウスジャパン、2011年。 R.N.ベラー他編『善い社会』みすず書房、2000年。 サンデル『リベラリズムと正義の限界』勁草書房、2009年。
--	--